

メディアリテラシーの育成研究（中学校）

I 研究主題

系統的・横断的な指導に基づいたメディアリテラシーの育成
～生徒に情報モラルを身に付けさせるために～

II 研究主題設定の理由

現代の情報化社会において、児童生徒に情報を適切に判断し、適切に発信する力を育成することは極めて重要な教育課題である。本市においては、「足利市の教育目標」の64番に「身のまわりの情報を整理し、活用する能力を身につける。」、65番に「情報を的確にとらえ、自ら正しく判断し、活用できる。」を児童期・青年期の目標としている。これまで、市内各中学校では、情報教育指導計画を策定し、パソコンなどを活用した学習指導の改善や生徒一人一人の情報活用能力の育成を図ってきたところである。

現在、携帯電話を所持している生徒及び家でインターネットを利用している中学3年生は、6割を越えているという調査結果もある。その中、ほとんどの生徒が日常的に携帯電話等でメールのやりとりをしており、チェーンメール・掲示版等のトラブルに巻き込まれる事例も数多く生じている。

これまで中学校では、当面する児童生徒上の課題に取り組まなければならないことや、技術・家庭科においてもコンピュータの操作技能を高めることが情報教育の中心となっていたため、携帯電話等を扱う際のルールやマナーを含めた、情報の適切な判断や適切な発信について系統的な指導を行うことが難しい状況であった。

そこで、情報の適切な判断、情報の收受・発信の際の正しい理解と適切な対応ができる能力・態度の育成を図るため、中学生に身に付けさせたいメディアリテラシーの視点から情報活用能力の内容を整理し、教科領域の系統性から具体的に組み込むための手だてについて研究することにした。今後、各中学校間の生徒指導担当との連携による情報モラルの指導の在り方、教科における情報の收受・発信の在り方、情報機器の活用に関する自己規制の在り方について研究を進めていく。

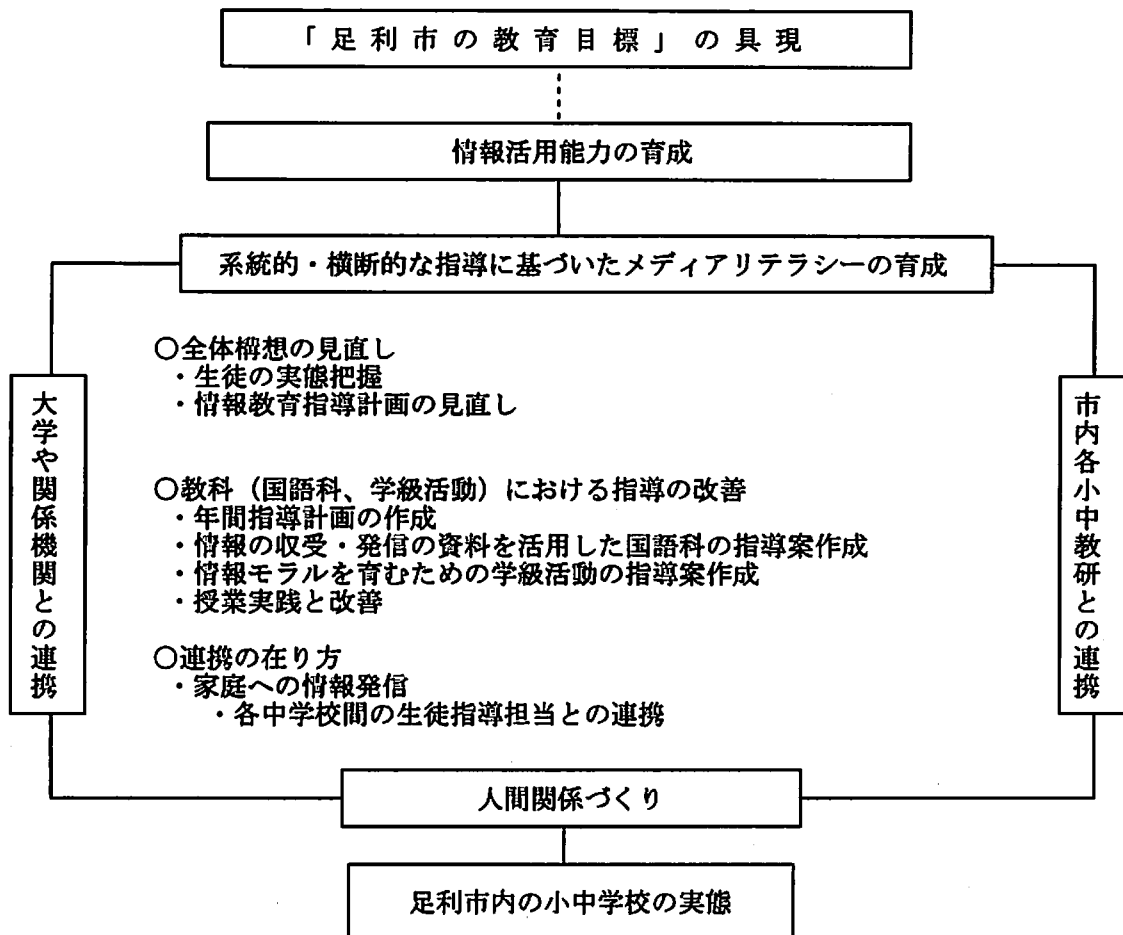
なお、研究の推進にあたっては、小中学校における指導内容の関連や系統性、家庭への情報提供、高等教育機関との連携を重視していきたい。

III 研究推進構想

1 研究の基本的な考え方

- (1) 携帯電話やインターネットの普及に伴い、生徒に情報モラルを養うための研究であることを踏まえる。
- (2) 携帯電話やインターネットの利用の実態を押さえる。
- (3) 授業で即使用できる指導計画や資料の収集を行う。
- (4) 小学校におけるメディアリテラシーの育成研究との関連を踏まえ、研究を推進する。
- (5) 上智大学、足利工業大学等の高等教育機関と連携し、講話や直接指導の場を通して研究を進める。

2 研究推進構想



IV 研究の内容

1 研究の方向性

(1) 全体構想の見直し

- ・携帯電話やインターネット使用に関する生徒の意識を把握する。
- ・各校の情報指導計画の見直しを行う。
- ・各校のこれまでの取り組みや、携帯電話等の利用に関する指導事例を収集し、その指導の在り方について検討する。

(2) 国語科、学級活動における学習指導の改善

- ・国語科における年間指導計画を作成する。作成にあたっては、教科書の巻末の資料（情報を適切に判断し、收受・発信するための資料）の活用を念頭においた、単元の洗い出しを行う。
- ・学級活動における年間指導計画を作成する。作成にあたっては、生徒の実態や事例資料を基にしながら指導の系統性をふまえる。
- ・国語科、学級活動における指導案の作成を行う。
- ・授業実践とその改善を行う。

(3) 家庭への情報発信

- ・生徒の実態把握による生徒の意識などをまとめ、情報だよりとして発行する。
- ・情報だより等で保護者啓発に努める。

2 研究のとらえ

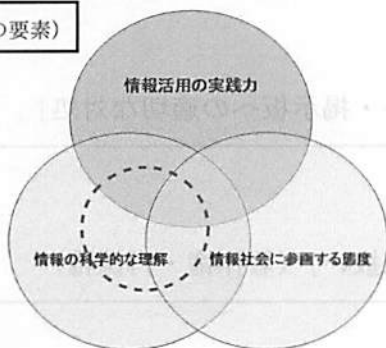
(1) メディアリテラシーの捉え

メディアリテラシーは、「メディア」と「リテラシー」に分けられる。「メディア (media)」とは、情報を伝える伝達手段となるもので、テレビや新聞などのマス・メディアは、その代表である。一方「リテラシー (literacy)」とは、本来は、「読み書きの能力や識字力」のことであり、「情報を読み取る能力」といえる。しかし、メディアリテラシーとは、ただ単に「メディアからの情報を読み取る能力」ではない。メディアからの情報の活用の仕方やコンピュータ等の使い方を学ぶことは、これまでも「視聴覚教育」や「情報教育」で行われてきた。メディアリテラシーは、伝えたい情報を適切に発信する能力も含んでいる。そこで、本研究では、メディアリテラシーを、「情報を適切に判断し、適切に発信する力」と捉える。

(2) 情報活用能力の3要素とこれまでの情報教育

情報活用能力

(3つの要素)



情報活用能力は、

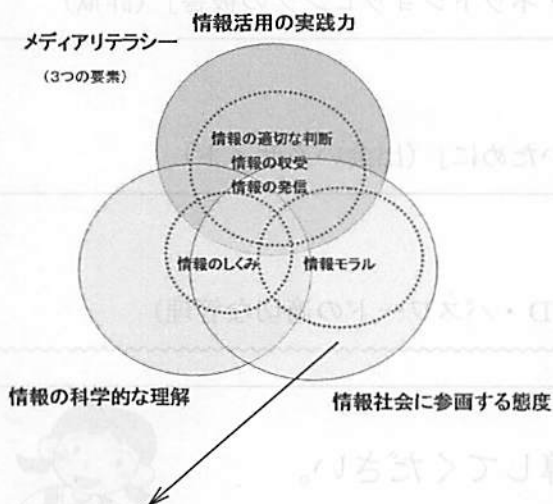
- ①情報活用の実践力
 - ②情報の科学的な理解
 - ③情報社会に参画する態度
- の3つの要素がある。

これまでの情報教育において、コンピュータの技能を中心とした学習が行われてきた。

そのため、左図の点線の部分のように、情報の科学的な理解の充実が図られてきたが、情報活用の実践力や情報社会に参画する態度についての指導に関する取り組みについて十分とはいえない状況であった。

(3) メディアリテラシーを視点とした情報活用能力の項目

メディアリテラシー
(3つの要素)



メディアリテラシーを視点として、情報活用能力を捉え直してみると、左の図になる。

情報活用の実践力 (情報の適切な判断、情報の収集、情報の発信)

情報社会に参画する態度 (情報モラル) の指導の充実を図る必要がある。

本研究では、情報活用の実践力と情報社会に参画する態度の要素に視点をあて、年間指導計画や指導案の作成を行う。

情報モラルのとらえ

情報モラルは、情報を発信する際のルールやマナーである。このルールやマナーについて、自覚のないまま安易にメディアを活用することで、他者やネットワークに害を及ぼしたり、トラブルに巻き込まれる場合もある。本研究では、情報モラルを「ルールやマナーを守り情報を適切に発信する力」と捉える。

V 研究の実際

(1) 情報モラル指導のための主な内容

- ・ 効果的な指導を行えるように、単位時間における授業の流れについて、発問も含めた指導展開例を作成した。
- ・ 授業で使うワークシートの例では、授業改善にすぐに役立つ資料を掲載している。

(2) 情報モラル指導内容

指 導 内 容
携帯電話利用の常識 「携帯電話使用の利用方法やマナーを知ろう」
ネットトラブルにあわないために (1) 「チェーンメール・迷惑メール・掲示板への適切な対処」
ネットトラブルにあわないために (2) 「画像や文字の情報の適切な取扱い」(著作権・肖像権)
ネットトラブルにあわないために (3) 「携帯サイトの理解」(不当請求など)
ネットトラブルにあわないために (4) 「ネットオークション・ネットショッピングの被害」(詐欺)
ネットトラブルにあわないために (5) 「犯罪にまきこまれないために」(出会い系サイト)
ネットトラブルにあわないために (6) 「個人情報の管理」(ID・パスワードの適切な管理)

児童生徒の実態に応じて、適時指導してください。



授業実践案 1 「携帯電話利用の常識」



- 1 題材名
携帯電話利用の常識
- 2 ねらい
携帯電話を利用する上でのルールやマナーについて理解させる。
- 3 学習活動案

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点（・） 教師の発問（○）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のテーマを示す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 携帯電話の利用法やマナーについて考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の所持率のグラフを提示する。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本時の学習のテーマ、「携帯電話の利用法やマナーについて」考えてみましょう。 ○ 平成19年に足利市立教育研究所が調査した携帯電話の所持率のグラフを見てみましょう。 ・ 状況に応じて、事前に学級で調査したグラフを提示したり、実態について生徒の感想を聞いてもよい。
展	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ちょっと待って、ケータイ」の資料をもとに、携帯の機能、ついて説明する。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ ちょっと待ってケータイのパフレットをもとに携帯で利用できる機能を考えてみましょう。 ・ メール、テレビ、電話、インターネットなどの機能を通して、携帯電話の機能は、誰かとつながっていることを解説する。 ○ 携帯電話を使って、様々なトラブルが生じている事例を説明します。 ・ パフレットの掲示板での事件（名誉毀損）を解説し、被害にあわないようにすることが大切であることを解説する。
開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プリントをもとに記入させる。 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○ これから、携帯電話を利用する中で、出会うかも知れないいくつかの場面について考えてもらいます。まず、あなたならどう対応するかについて考えてください。その後、グループになって、グループとしての考えをまとめてください。ただし、グループでの話し合いでは、他の人の意見に賛成しないで、自分の考えをみんなにきちんと伝えるようにしてください。また、人の意見もよく聞いて理解するようにしましょう。 ・ ワークシートを配布し、考えを記入させる。 ・ 選んだわけと、その結果予想される、トラブルについて記入することを助言する。 ・ 理由は、記入できる範囲で記入すればよいことを伝える。

<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをもとにグループで話し合わせる。 ・グループでの発表をもとに 	15分	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の結果をもとに、グループで情報交換をしてみましょう。情報交換をするときは、選んだ理由と、他の選択肢を選ばなかった理由について説明してください。メンバーの考えを一覧にまとめ、グループでの考えをまとめてください。あとで、各班ごとに発表してもらいます。 ・教師は各班を机間指導しながら、それぞれの選択肢がかかえる問題点について、生徒が気づくように助言する。 ・各班の発表が分かるように、黒板に一覧表を成し、班ごとの発表を一覧にまとめる。
<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の正しい使い方について確認し、携帯電話のトラブルへの対応について説明する。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○各班からでた、内容について考えてみましょう。 ・掲示板に悪口を書き込んでいることを知ったら、書き込みを削除するように助言するか、友達にその事実を相談することが適切であることを説明する。しかし、友達との間でトラブルが発生することが考えられるため、できれば、先生や親に間にはいってもらうことがよいことを説明する。 ・メール返事は、すぐには返事をせず、時間をおいて返事をするのが適切であることを押さえた上で、メールは、どちらが返事を切るかが難しいことを説明する。 ○携帯電話は、相手の考えをきちんと理解しつつ、自分の考えもきちんと伝えることが大切であることを説明する。
<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りカードに記入させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○振り返りカードに記入しましょう。

4 指導のポイント

携帯電話の利用に関しては、携帯電話は、不特定多数の人とすぐ繋がる利点があり、便利さもある反面、メールや掲示板などのトラブルを抱える問題もあることを生徒に認識させることが大切です。

とくに、相手の考えや相手の気持ちに理解をしつつ自分の考えもきちんと伝えることが大切であることを、携帯電話利用の第一歩として指導しておくことが大切です。



5 資料

携帯電話の利用！ あなたならどうする？

年 組 番 氏名

学校の仲間とインターネットや携帯電話を利用しているものとします。
以下には、その中でであうかも知れないいくつかの場面が想定してあります。
あなたならどうしますか。3つの答えの中から一番良いと思うものをひとつ選んで
○をつけてください。その選択肢を選んだ理由と、選ばなかった理由について記入
してください。

回答がすんだら、グループごとに話し合い考えをまとめてもらいます。

1 あなたが、いつも学校の仲間と利用しているインターネットの掲示板を見ていたら、親友のAさんが、あなたの悪口を書き込んでいるのをみつけました。あなたならどうしますか。

- ア Aさんに連絡して、すぐに書き込みを削除させる。
- イ 何か、自分にいけないことがあったのかを、一人で悩む。
- ウ Aさんに悪口を書かれていることを友達に相談する。

2 あなたのメル友からメールが届きました。あなたならどうしますか。

- ア 相手から届いたメールには、すべてできるだけ早く返事のメールをだす。
- イ すぐには返信せず、少し時間をおいてから返信する。
- ウ 回答要求がなければ特に返信せず、後で別の要件ができたときにメールする。

携帯電話の利用！ あなたならどうする？ ワークシート

年 組 番 氏名

問題	選択肢	選んだ理由と選ばなかった理由
1	ア	
	イ	
	ウ	
2	ア	
	イ	
	ウ	

回答用紙

問題	答	自分の考え	メンバーの考え	グループの考え
1				
2				

コメント

授業実践案 2 「チェーンメールに適切に対処するために」

1 題材名

チェーンメールに適切に対処するために

2 ねらい

チェーンメールがもたらす害、及びそれらに対する正しい対応の仕方を理解する。

3 学習活動案

	学 習 活 動	時間	指導上の留意点（・） 教師の発問（○）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを示す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> チェーンメールへの 対処の仕方について 考えよう </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のテーマ、「チェーンメールへの対処の仕方について」考えてみましょう。 ○チェーンメールについて知っていることや体験したことがある人はいますか。 ・事前に学級で調査したアンケート結果を提示したり、過去に出回ったメールの内容例を紹介したりしてもよい。 ・チェーンメールのパターンはさまざまだが、同じ内容を複数の人に転送するよう求めるといった共通点があることを確認する。
展	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1（個人用）について、自分の考えをまとめさせる。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシート1にあるような内容のメールを受け取ったら、あなたならどうしますか。3つの選択肢の中から選んでこたえてください。また、山田君の行動について、あなたがよくないと思うところとその理由を考えて書いてみましょう。 ・ワークシート1（個人用）を配布し、考えを記入させる。
開	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをもとに、グループで話し合わせる。 ・話し合いで出された意見をワークシート2（グループ用）に記入させながら、グループとしての意見をまとめさせる。 ・各グループごとに意見を発表させる。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○個人で書いた意見をもとに、グループで情報交換をしてみましょう。グループのメンバーから出された意見は、ワークシート2（グループ用）に記入しましょう。 ・ワークシート2（グループ用）を配布し、他のメンバーの考えをメモしながら話し合わせる。 ・教師は各グループを机間指導しながら、活発に意見交換が行われるよう助言する。 ・意見が出にくいグループについては、今後このメールによって起こりうる事態を予想して考えてみるよう助言する。 ・各グループの発表がわかるように黒板に一覧表を作成し、班ごとの発表をまとめさせる。

<p>・各グループの発表をもとにチェーンメールの問題点や正しい対処の仕方を理解させる</p>	<p>10分</p>	<p>○各グループから出された、山田君の行動の問題点とその理由から、このようなメールを受け取ったとき私たちはどうすればいいのか考えてみましょう。</p> <p>・チェーンメールは、次のような問題点を含んでいることを理解させる。</p> <p>①短時間で膨大な数にふくれあがり、メールサーバーやネットワーク全体に負荷をかける。</p> <p>②受け取った人や個人情報を流された人など、転送される過程で多くの人に迷惑がかかる。</p> <p>・たとえ真実であったり善意の内容であったりしても、チェーンメール化してしまった時点で迷惑メールになること、転送することで自分も加害者になってしまうことを理解させる。その上で、チェーンメールが回ってきても、自分で止める判断力と態度を養わせたい。</p>
<p>・この授業の感想を記入させる。</p>	<p>5分</p>	<p>○今日の授業で考えたことやわかったことなどを、ワークシートに記入しましょう。</p>

4 指導のポイント

チェーンメールには、「恐怖をあおるメール」「幸福を呼ぶメール」「デマ情報を流すメール」などいろいろなものがあります。中には「出会い系サイト」や「アダルトサイト」のURLを付けて誘い込み、架空請求をするというような悪質な宣伝メールもあることにも触れます。いくつかのサンプルを提示した上で、いずれも複数の人に転送することを求めるという共通点があること、またその点こそが大きな問題となることを理解させます。

また、中には転送を止めないよう脅迫するものも多くあります。けれども、送受信の仕組み上メールを止めても発信者にはわからないため、そのような脅迫はまったく無効であるということも理解させましょう。

こんなメールが届いたらどうする？ ワークシート1(個人用)

年 組 番 氏名

山田君は、友達から下のようなメールを受け取りました。

『次のようなメールが入ったので転送します。

友達の親戚の中学生が重病で緊急手術をしなくてはならないのですが、輸血用のRhマイナスB型の血液が足りないそうです。協力できる人は△△△@×××.ne.jpまで至急連絡ください。非常に少ない血液型なので、このメールをできるだけたくさんの人に転送して呼びかけてください。』

山田君は、いとこが同じ血液型だったのを思い出したので、いとこの家の電話番号をメールの中のアドレスに送信しました。そして、7、8人の友達にこのメールを転送しました。

1 あなたが上のメールを受け取ったら、どうしますか。あてはまるものを○で囲みましょう。

- ア. すぐに友達などにメールを転送し、周囲に同じ血液型の人がいれば連絡しようと思う。
- イ. とりあえず、メールだけは転送する。
- ウ. 転送も連絡もせずに無視する。

2 あなたがよくないと思う山田君の行動は、どんなことですか。また、なぜよくないのでしょうか。考えて書きましょう。

よくないと思う行動	その理由

こんなメールが届いたらどうする？ ワークシート2(グループ用)

年 組 番 氏名

ワークシート1の問題1、2について、グループのメンバーはどのような意見をもっているのでしょうか。お互いに発表し合い、話し合って意見をまとめてみましょう。

1.

メンバー						
答え						

2.

よくないと思う行動	その理由

今日の授業であなたが感じたことやわかったことなどを書きましょう。

--

授業実践案 3 「掲示板を正しく使うために」

- 1 題材名
掲示板を正しく使うために
- 2 ねらい
掲示板利用上のルールやマナーについて理解させる。
- 3 学習活動案

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点 (・) 教師の発問 (○)
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを示す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 掲示板利用上のルールやマナーについて考えよう </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習テーマ「掲示板利用上のルールとマナー」について考えてみましょう。 ○これまでに、「掲示板」を見たり、書き込んだりしたことのある人がいたら、その時の感想を話して下さい。 ・可能ならば、事前に学級でアンケートを行い、「掲示板」閲覧、書き込みの経験者の人数を把握しておくとうい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・足利市のホームページ内「掲示板」を資料として、「掲示板」とはどんなものか説明する。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○実際のホームページ上にある「掲示板」を見てみましょう。どんなことに気がつきましたか。 ・不特定多数の人間が匿名で書き込めること、閲覧できることを押さえておく。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・架空の「掲示板」を読み、問題点を考えさせ、ワークシートに記入させる。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○次の「掲示板」を読んで、問題点を考えてみましょう。まずは自分で考えて下さい。その際に理由も付けられたら、書いて下さい。その後、グループになって話し合い、意見をまとめてください。 ・ワークシートを配布し、考えを記入させる。 ・「掲示板」のAに自分の名前を当てはめて読み、自分の気持ちを考えさせ、被害者の気持ちから問題点に近づかせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをもとにグループで話し合わせる。 ・各グループの発表をもとに「掲示板」利用上のルールを集約させる。 	20分	<ul style="list-style-type: none"> ○個人の意見をグループ内で交換してみましょう。グループとしてなるべく多く問題点を挙げてみて下さい。 ○もし自分がこの「掲示板」の様な悪口を書き込まれてしまったら、どうしたらいいでしょうか。班の友達と対策を考えて下さい。 ・話し合いが進まないようなら、具体例をいくつか提示する。 ○各班から出された問題点やその対策について考えてみましょう。 ・悪口、個人名を出すことは必ず押さえる。

<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育センターからの資料（P 8, P10）を配付し、「掲示板」利用上のルールやマナー、トラブル対処方について説明する。 	<p>10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・悪口を書き込むことは、人をひどく傷つけてしまうことを認識させる。そして場合によっては犯罪なることも説明する。 ・「掲示板」上の情報は全世界に広まってしまうことを再確認させる。 ・事件になった事例を複数示し、「掲示板」への書き込みには十分注意するように話す。
--	------------	---

4 指導のポイント

「掲示板」利用上のマナーの基本は「自分がしてもらってうれしいことをする」「自分がされてイヤなことはしない」という相手への思いやりの気持ちです。匿名で書き込めるので、不確定な情報や大げさな表現を用いてしまうことも多くあります。

「悪口や個人名は、絶対に書かない」ということを指導しておくことが、第一歩になります。もし被害者になってしまった場合は、慌てず親や教員に相談するよう指導しておきましょう。

授業実践案 4「ネットトラブルにあわないために 詐欺」

1 題材名

ネットトラブルにあわないために 詐欺

2 ねらい

ネットオークション、ネットショッピングの被害にあわないための心得について考えさせる。

3 学習活動案

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点 (・) 教師の発問 (○)
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを示す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ネットオークション・ネットショッピングの被害について考える。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの利用目的のグラフを見る。 	5分	○本時の学習のテーマ「ネットオークション、ネットショッピングの被害」について考えてみましょう。 ○平成15年度に総務省が調査したインターネットの利用目的のグラフを見てみましょう。 ・インターネットを利用したネットオークション、ネットショッピングが気軽にできる時代になってきていることを伝える。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネットオークション初体験のA君」の事例について考える。 	15分	○「ネットオークション初体験のA君」を読みましよう。 ○作業プリントにしたがいこの事例で危険だと感じたことと、その理由を書きましょう。 <ul style="list-style-type: none"> ・安すぎる ・保証書がない ・実物の画像がない ・メールでしか連絡をとってない ・お金は振り込みでいいか
	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の考えをもとにグループで話し合わせる。 	10分	○個人の考えをもとに、グループで情報交換をしてみましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表 	10分	○グループでまとめた物を、各グループごとに発表してもらいましょう。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「その後のA君」を聞く。 	5分	○その後のA君について話します。「商品はいつまでたってもきません。メールで連絡してもいつこうに届きません。やがてメールでの連絡が取れなくなりました。出品者が示していた電話に連絡を試みましたが、連絡が取れません。警察に相談してみると出品者の示していた住所は架空の物でした。さらに調べると、出品者の評価も出品者が自分自身で投稿して作ったものでした。」
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・本時でわかったことを書く。 	5分	○今日の授業でわかったことを作業プリントに書きましょう。

指導のポイント

個人売買はあくまでも自己責任。インターネット上に掲載されている情報が正しいか、相手のことをしっかり確認するなど理解させましょう。
また、自分の情報を守ることも大切なことです。

ネットオークション初体験のA君

もうすぐ修学旅行に行くA君は、以前から欲しかったデジタルカメラをネットオークションで買おうと思いました。

ネットオークションで検索すると、お店で買うと5・6万円するものが、新品同様に『残り時間10分、現在の価格3500円』で出品されていました。保証書はありません。実物の画像もありません。

出品者の評価を見ると、『良い』の評価が15人、『悪い』の評価は2人でした。悪い評価も気になりますが、残り時間も少ないのでいそいでオークションに参加し、入札に成功しました。

出品者とはメールで連絡をとりあいました。代金は相手が指定した銀行口座に振り込み、商品が届くのを待っています。



年 組 番 氏名 _____

問 この文章の内容で危険だと感じる内容を3カ所以上上げてください。

- ① 理由： _____
- ② 理由： _____
- ③ 理由： _____
- ④ 理由： _____

今日の授業でわかったことを記入してください。

授業実践案 5 「ネットトラブルにあわないために・・・ 不当（架空）請求」

1 題材名

ネットトラブルにあわないために・・・不当（架空）請求

2 ねらい

携帯サイトを正しく活用するために、不当（架空）請求について理解させる。

3 学習活動案

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点（・） 教師の発問（○）
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 携帯電話での不当（架空）請求について考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> ・不当請求について、どの程度、生徒が認識しているのかを把握する。 	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習のテーマ、「携帯電話での不当（架空）請求について」考えてみましょう。 ○今までに「これは危険な（不当請求する）サイトかもしれないなあ。」と思ったサイトを見たことがある人はいますか。また、「周りに被害にあった（あいそうになった）人がいる。」という人はいますか。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントで、不当請求の事例を見ながら、実際にクリックするとどうなっていくのか体験学習をさせる。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○不当（架空）請求とはどういうものなのか、事例を実際に見てみましょう。 ・事例を取り上げた学習プリントを配布し、実際にクリックすると、どのような画面が出てきてしまうのか、体験しながら確認していくことを説明する。 ○（1）から徐々に体験していくので、（2）（3）は、ふでばこなどで隠しておきましょう。 ○あなたの携帯に（1）の画面が出ました。YESかNOを選んでください。どちらかをクリックしたとします。すると、どうなるでしょうか。 ○（2）の画面が出ました。（3）は、まだ隠しておきましょう。実は（1）でYES、NOのどちらを選んでも、この画面が出てしまいます。 ○次に（2）の画面から、①～④を順にクリックしたとします。すると、どうなるでしょうか。（3）①～④を順に見ていきましょう。このような画面、結果になってしまうのです。こわいですね。とても巧妙に仕組まれた不当請求なのです。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・不当（架空）請求の被害にあわないためにはどうしたらよいか、グループごとに話し合わせる。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○このような不当（架空）請求の被害にあわないためには、どうしたらよいでしょうか。グループごとに話し合い、考えをまとめてください。 ・教師は各班を机間指導しながら、生徒が対処法に気づくよう助言する。

<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表させる。 	10分	<ul style="list-style-type: none"> ・「無視することを続ける」のもよいが、「再三の要求にもかかわらず・・・」「訴訟を起こす」などの脅しメールが続くことも考えられる。そういった内容に一人で耐えられるか、ということも考えさせたい。 <p>○では、グループごとに話し合ったこと（不当請求への対処法）を発表してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班長などの代表に、話し合いの結果を発表させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・不当（架空）請求への対処法をまとめ、確認する。また、見破るコツも紹介する。 	10分	<p>○皆さんから出た意見をまとめてみましょう。不当（架空）請求への対処法として、考えられるのは、「無視をする」「業者と連絡をとらない」「親や先生に相談する」「お金は絶対に払わない」などです。学習プリント3にまとめて書いておきましょう。</p> <p>○実は、不当（架空）請求だ、ということを見破るコツが、いくつかあります。資料1を読んでみましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不当請求は、巧妙な手口であることを理解し、困ったらあせらず、また自分一人で抱え込まずに周囲に相談する大切さを理解させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学習プリントに、本時の学習の感想を書かせる。 	5分	<p>○今日の授業で、感じたことや考えたことを、学習プリントに書いてみましょう。</p>

指導のポイント

不当請求は、「利用したことが、はっきりわかっているサイトの運営者から、見当違いな料金の請求をされる」こと。架空請求は、「全く利用したことがないサイトの運営者から、使用料金の請求をされる」こと。その手口も悪質かつ巧妙化しています。こういった手口が存在し、動揺した生徒たちが、まさしく悪徳業者のターゲットになっていることを認識させることが大切です。

また、このような契約のやり方は、法律で禁止されているので、あせらずに対処することを学習しておくことが大切です。

ネットトラブルにあわないために・・・

不当請求、架空請求

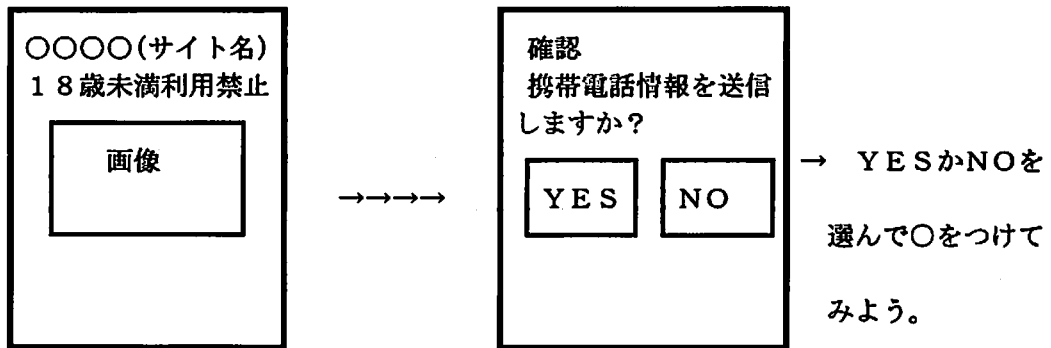
学習プリント

()年()組()番 氏名()

◎ 携帯電話での不当(架空)請求について考えよう。

1 不当請求とは何か。事例を見ながら体験学習をしよう。

(1)



(2) YESもNOも同じ画面に!

①
② 当番組へのご入会あ
③ りがとうございま
④ す。あなたの
個別識別番号
キャリア:△△△(携帯電話会社)
機種 :◇◇◇
ID :XXX
メールアドレス
アクセスエリア

ご入会手続きを完了
しました。
ご利用期間:90日間
ご利用料金:3万円
振込先:●●銀行●支店
口座番号〇〇〇

支払期限:2007年10月15日上記
口座にお振り込み下さい、未払いの場合、
利用規約に基づき個別識別番号をもとに
延滞金49000円、延滞1日につき3
000円の損害金を加算します。
退会方法を確認

①
個別識別番号とは、
携帯電話ごとに設定されている個別の
IDコードです。更に下記の情報がわか
る場合があります。
契約者名
契約者住所電話番号、勤務先など

②
あなたのメールアド
レスは、★★★★★
です。

③
あなたの現在のエリ
アは大崎/五反田で
す。この情報を情報
提供者に送信しま
す。よろしいですか。

OK

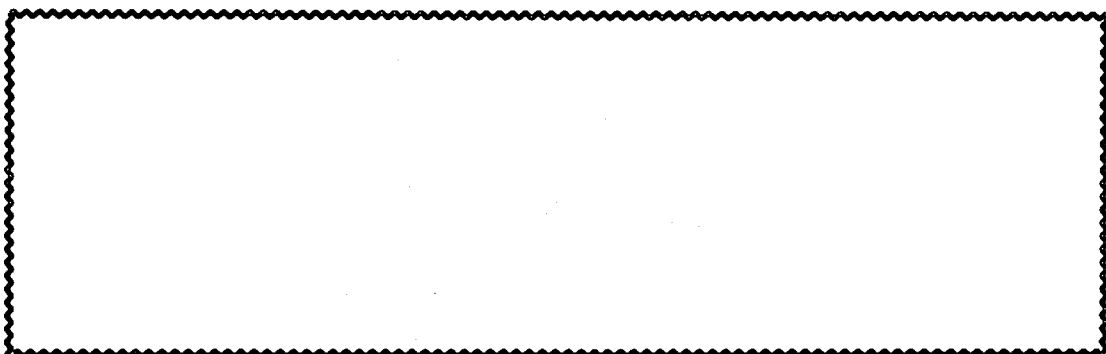
①サイトアクセスだけで、契約者名等の情報が伝わることは絶対にありません。

②当該携帯電話端末に備わっている「メールアドレスを表示する機能」を利用して、あなたも業者にメールアドレスが伝わったかのように表示しているだけであり、業者がメールアドレスを入手したわけではありません。

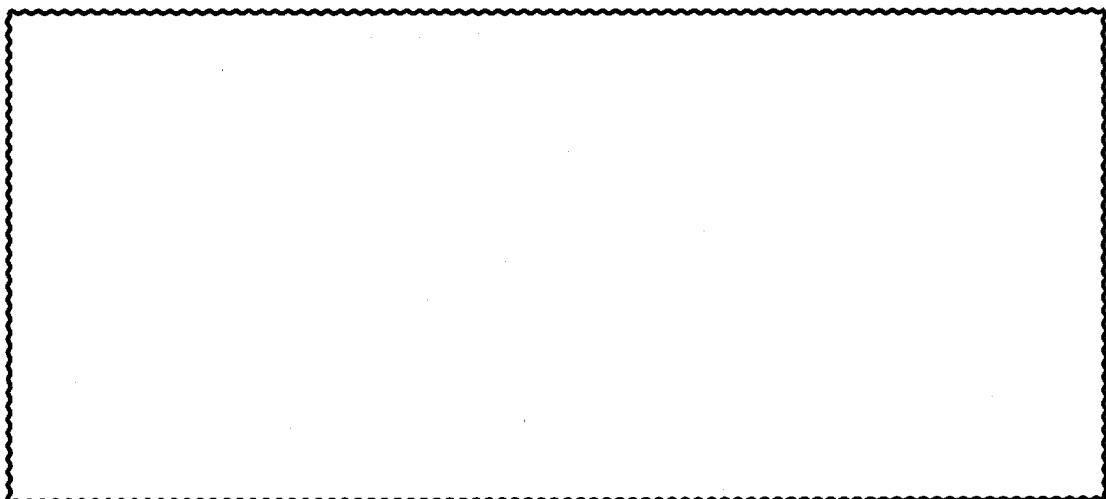
③アクセスエリアの表示は個人を特定するものではありません。

④退会手続きの料金を請求されてしまうことも。クリックするとあなたのメールアドレスなどが業者に自動的に送られてしまう。あわててクリックしないように。

2 不当（架空）請求の被害にあわないためにはどうしたらいいだろうか。グループで話し合ってみよう。



3 グループごとの発表をもとに、不当（架空）請求への対処法をまとめてみよう。



※資料１・・・不当（架空）請求を見破るコツ

- ①業者の正式な名称・住所・連絡先が不明。
- ②入口（入場）＝登録・確認画面が表示されない。
- ③情報を知っていると装う。
- ④利用規約などが故意に見にくく細工されている。
- ⑤不当に高額な利用料・延滞料などを規定。

4 本日の学習で、感じたことや考えたことを、書いてみよう。



授業実践案 6

「出会い系サイト」

～犯罪に巻き込まれないために～

1 題材名

携帯電話利用の常識

2 ねらい

携帯電話を利用する上でのルールやマナーについて理解させる。

出会い系サイトの利用により性被害、薬物犯罪、架空請求などの被害の危険を学ぶ。

書き込みについても処罰されることを学ぶ。

3 学習活動案

	学 習 活 動	時 間	指導上の留意点 (・) 教師の発問 (○)
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のテーマを示す <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 出会い系サイトとはどんなものかを知る。また被害者の状況を知る。 </div>	5	○出会い系サイトとは何ですか。またどんな人が被害にあうのか。 ・「出会い系サイト」とは、見ず知らずの人と知り合ったり出会ったりすることを支援するサイトをいう。 ・被害者における女子生徒の占める割合が多いことから、児童がこのサイトを利用することは大変危険である。
展	<ul style="list-style-type: none"> ・事例を読む。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 出会い系サイトに援助交際の書き込みをするとどうなるかがわかる。 </div>	10	○出会い系サイトに援助交際の書き込みをするとなぜ、捕まってしまうのか。 ・法律によって禁止されている。 (例を挙げて説明) ・「女子中学生で僕とデートしてくれる人いませんか。」 ・「中2です。お小遣いをくれれば、一緒にお茶してもいいよ。」 などは犯罪である。
開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 出会い系サイトに援助交際の書き込みをするとどんな危険があるかを考える。 </div>	15	○事例を読んで感じたことや、見知らぬ人とデートをしたり、金銭を受け取ることでどんな危険性があるか。 (班ごとに話し合い発表する)
	(予想される反応) ・性的な被害 ・誘拐 ・薬物 ・架空請求の被害 ・脅迫の被害 ・恐喝 ・詐欺 ・殺人事件	10	・事件例を挙げ、説明する。

終 末	<ul style="list-style-type: none"> ・見知らぬ人との接触における危険性や犯罪に巻き込まれない態度について教師のまとめを聞く。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話やインターネットの利用についても指導する。 (出会い系サイトにアクセスしたきっかけは広告メールとネットサーフィンが圧倒的に多い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の感想を書く。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・人を信頼することと、事件から身を守ることに ついて考えさせる。

指導のポイント

- ・出会い系サイトの正しい知識、情報を理解する。
- ・どう手続きをすると、どういう危険が発生するかがわかる。
- ・その危険性、恐さが十分にわかる。

ワークシート

()年()組()番
名前

1 出会い系サイトとはどんなものですか。
2 出会い系サイトの被害者はどんな人が多いのだろうか。
3 出会い系サイトに援助交際の書き込みをするとなぜ、捕まってしまうのか。
4 出会い系サイトに援助交際の書き込みをするとどんな危険性があると思いますか。
5 見知らぬ人との関わり、犯罪に巻き込まれないためにはどうしたらよいですか。 また携帯電話やインターネットを利用する際、気をつけなければならないことは どんなことか。
《今日の授業の感想》

VI 各教科における指導のポイント例 (国語)

1 学年 国語科

①国語への関心・意欲・態度 ②話す・聞く能力 ③書く能力 ④読む能力 ⑤言語についての知識・理解・技能

月	学習材	学習目標	主な学習活動内容	時数	評価の観点					おおむね満足できる状況	十分満足できる状況	
					①	②	③	④	⑤			
<p>指導目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自分の考えを大切に、目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに、話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。 2 必要な材料をもとにして自分の考えをまとめ、的確に書き表す能力を高めるとともに、進んで書き表そうとする態度を育てる。 3 ささまざまな種類の文章を読み、内容的に理解する能力を高めるとともに、読書に親しみ、ものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。 												
4	名づけられた葉	読み方を工夫して朗読する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 詩の意味を考えながら朗読を工夫し、発表して聞き合う。 2 題名の意味を話し合う。 	2	○	○		◎			・詩に表れている作者のものの見方や考え方を理解し、読み方を工夫して朗読している。(観察・朗読)	・読み方を工夫して朗読し、詩に表れている作者のものの見方や考え方にふれて、自分のものの見方や考え方を広くしている。(音読・ノート・発表)
	話し方はどうかな	言葉のひびきを楽しみ、適切な声の出し方を身につける。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読んで「話し方」について内容をとらえる。(野球中継や気象情報のアナウンスの例を読み、音読の練習をする。) 2 「聞き手によく分かるような話し方」について話し合い、実際に話してみる。 	4	○	◎		◎	○	・自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえようとして話し方を工夫し、話す速度や音量、言葉の調子や間の取り方に注意して話している。(観察・発表)	・速度や言葉の調子や間の取り方などに注意して、話し方を工夫し、意欲的に話している。(発表)	
	声に表情をつけよう	適切な声の表情で伝える練習をする。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材に沿って実際に学習してみる。(気持ちこめてあいさつをする。適切な声の表情をつける。図鑑に注意して話す。) 	1	○	○			◎		・適切な声の表情をつけて、伝えている。(観察・発表)	・言葉の意味を考えながら、工夫して声に表情をつけ、意欲的に話している。(観察・発表)
	あなたも詩人	自由な発想で短い詩を作り発表する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材に沿って実際に創作してみる。(詩を作り、消書し、自作の詩を発表する。) 2 お互いの作品のよいところを見つけ、感想を述べ合う。 	2	○		◎		○	・身近な生活の中から題材を見つけ、自分の見方や考えを詩に書いて、発表している。(ノート・発表)	・豊かな発想で、意欲的に詩の創作をしている。(観察・発表)	
6	話し言葉と書き言葉	話し言葉と書き言葉の違いについて考える。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、話し言葉と書き言葉の違いや特徴について、分かったことをノートにまとめて発表し合う。 	2	○		○		◎		・話し言葉と書き言葉について理解している。(ノート・発表)	・話し言葉の違いを十分理解し、書き分けたり読み分けたりできる。(ノート・発表・観察)
	文法とは・言葉の単位	言葉の単位について学ぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材を読み、誤用を含む文について、考える。言葉の単位と分け方について学習する。 2 練習問題に取り組み、学習内容を確認する。 	3	○				◎		・言葉の単位について理解している。(観察・ノート・発表)	・言葉の単位について理解し、練習問題を解くのに意欲的である。(観察・ワークシート)
8	◎ 国のはたらきを目で見てみよう	情報を整理して読み取る。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習の課題を確かめ、本文を正確に音読しながら通読する。 2 学習の課題a (国と文章を関連合わせて読み取ろう。)について学習する。 3 学習の課題b (関心を持ったことをまとめ、話し合おう。)について学習する。 	4	○				◎	○	・各図の説明において、図の様子について要点をとらえ、教科書の文章中の情報を整理して要約している。(ワークシート・観察)	・教科書の文章中の情報に付け加え、目的に合わせてインターネットや図書を活用して、国のはたらきに関する情報を集めることに意欲的である。(ノート・観察)
	聞き上手になろう	場面に応じた聞く力を養う。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材に沿って学習する。(話の聞き方を考える。相手の話を復唱する。インタビューをする。) 2 課題1～6について、グループ活動にして取り組む。 	4	○	◎				○	・話し手の意図を考えて、相手の言う内容をおおむね正しく聞いている。(観察・メモリスニングテスト)	・聞いたことをもとにして、話し合いの話題や方向をとらえ、的確に話している。(観察・ノート・発表)
8	◎ 分かりやすく書く	伝えたい事実や事柄を分かりやすく書いて説明する。	<ol style="list-style-type: none"> 1 学習材に沿って、学習の目標やポイントをつかむ。(時間の経過に沿って説明する。5W1Hをおさえ説明する。項目を立てて説明する。比較して説明する。) 2 「課題」の中から一つ選び、具体的な題材を決めて材料を集め、1で学んだ説明の仕方を参考にして構想を立てる。 	6	○	○		◎			・伝えたい事実や事柄、自分の考えや気持ちを明確にし、的確に書くために適切な材料を選び、それぞれの説明の仕方をおさえ書いていく。(ワークシート・発表・観察)	・書いた文章を読み合い、または読み返して、伝えたい事実や事柄がより明確になるように文章を検討して、書き直している。(ワークシート・発表・観察)

	漢和辞典の使い方	漢和辞典の使い方を理解する。	3 構想にしたがって「分かりやすく説明する文章」を書く。 4 グループや全体の場で、書いた文章を発表し合う。相互推敲し合い、書き直す。	2	○						◎	・漢和辞典の使い方を理解している。(発表・観察)	・漢和辞典の使い方を理解し積極的にさまざまな漢字について調べている。(ノート)
	語の意味と文脈	多義の言葉の意味と文脈について知る。	1 学習材を読んで、漢和辞典について知る。 2 漢和辞典を使って、さまざまな漢字について3つの索引を使い、調べてみる。	1	○						◎	・多義語のそれぞれの意味の違いと、文脈によって意味が変わることを理解している。(発表・ノート)	・さまざまな多義語について、辞書を活用し理解を深めている。(観察・ノート・発表)
7	さんちき	読書に親しみ、いろいろなものの見方、考え方にふれる。	1 本文を通読し、感想を発表し合う。 2 文章の展開を確認して、題名の意味や主題について話し合う。	5	○						◎	・文章に書かれているものの見方や考え方を理解し、さまざまな文章からいろいろなものの見方や考え方を広げている。(ノート・発表・観察)	・積極的に読書し、さまざまな文章からいろいろなものの見方や考え方にふれている。(観察・読書紹介カード)
	碑見よう読もう楽しもう		1 本文を読んで、感想を発表し合う。 2 読書し、紹介カードや本の帯作りをする。	2	○		○	◎			◎		
	活字と書き文字・因致	活字と書き文字の字体的違いに関心を持つ。	1 活字と書き文字について、字体的違いや気づいたことを話し合う。(①②) 2 因致について確かめる。(③)	1	○						◎	・活字と書き文字の字体的違いに関心を持ち、理解している。(観察・発表)	・活字と書き文字の字体的違いを理解し、特徴をとらえている。(観察・ノート)
9	文の成分・文節	文節のはたらきについて学ぶ。	1 教科書を読んで、文の成分や文節について知る。 2 練習問題に取り組み、学習内容を確認する。	2	○						◎	・文節のはたらきについて理解している。(発表・ノート・ワークシート)	・文節のはたらきについて理解し、練習問題を解くのに意欲的である。(観察・ワークシート)
	竹取物語	古典に興味を持ち、古典に親しむ。	1 現代語訳と対照して古文の部分を読み取り、あらすじを讀んだりして、竹取物語のあらましを知る。 2 学習の課題に取り組む。	3	○				◎	○	◎	・古文の語句や仮名遣い、詞法の仕方に注意しながら音読し、文章の展開に即して内容をとらえ、また、古典作品を参考にして自分なりの感性を文章表現したり、故事成語の意味を理解するなど、古典に興味をもっている。(音読・ノート・ワークシート・観察)	・古典のリズムを感じながら音読し、文章に書かれているものの見方や考え方について考え、自分の感性を工夫して文章表現したり、他の故事成語について意欲的に調べるなど、古典に親しんでいる。(音読・ノート・ワークシート・観察)
	枕草子		1 枕草子や清少納言について知る。 2 古文を読み味わい、学習の課題に取り組む。	4	○				◎		◎		
	矛盾		1 自分が最も好きな季節について文章に表現し、発表する。 2 他の故事成語について意味や使い方を調べ、発表する。	3	○				◎	○	◎		
10	音読み・訓読み	漢字の音読みと訓読みについて学ぶ。	1 漢字の音読みについて課題に取り組む。(①②) 2 漢字の訓読みについて課題に取り組む。(③④)	1	○						◎	・漢字の音読みと訓読みについて理解し、適切に読み分けている。(発表・ノート)	・より多くの漢字について、音読みと訓読みを調べるなど意欲的である。(観察・ノート)
	和語・漢語・外来語	和語・漢語・外来語の区別を理解し、言葉に関心を持つ。	1 和語・漢語・外来語について知る。課題や研究について取り組む。	1	○						◎	・和語・漢語・外来語の区別を理解し、文章の中の言葉に関心をもっている。(ノート・発表・観察)	・より多くの和語・漢語・外来語について調べるなど意欲的である。(観察・ノート)
	ハナドリの不思議	文章の構成や因果関係を読みとる。	1 全文を通読して、感想や考えたことを話し合う。 2 語句の意味、文章の構成、論の展開を確かめながら読む。	4	○						◎	・文章の構成や展開を確かめながら、主題を考え、要旨をとらえて、因果関係を読みとっている。(ノート・発表)	・文章の構成や因果関係を読みとり、図やイラストなどを使って筆者の考えの筋道を整理している。(ノート)
◎	分かりやすく話そう	聞き手に伝えたいことを分かりやすく話すための話し方を知る。	1 学習材を読みながら、分かりやすく話すための三つのポイントをつかむ。(①文を短くして話す。②全体像を先に話す。③項目を立てて話す。) 2 課題について相手や状況を設定して、話してみる。	3	○				◎		○	・自分の考えや気持ちを分かりやすく話している。(メモ・発表・観察)	・全体と部分との関係、事実と意見との関係に注意して、話したり聞いたりしている。(メモ・発表・観察)
11	根拠を示して書こう	自分の意見を相手に受け入れてもらえるように明確な根拠をあげる。	1 学習材を読みながら、学習のポイントをつかむ。(①根拠のない意見と根拠のある意見。②根拠を考える。) 2 課題の中から一つ選び、学習したことを生かして根拠を考えたり、作文の構想を考えたりする。 3 構想に従って作文を書き、グループで読み合う。	7	○				◎	○	◎	・自分の考えや気持ちを的確に表すのに適切な材料を選び、明確な根拠をあげて書いている。(ノート・メモ・作文)	・互いの文章を読み、題材のとらえ方や材料の集め方などについて学び合い、自分の表現の参考にして書いている。(観察・作文)

VII 研究のまとめ

1 研究の成果

- (1) 情報モラルに関する指導について、具体的な資料を作成することができ、各学校における指導の在り方について提案することができた。
- (2) 教職員研修において、中間報告を行うことを通して、本研究の有用性について、各校の先生方の意識を向上させることができた。

2 今後の課題

- (1) 本研究の成果を、教職員研修会を通して、周知する機会を設ける。
- (2) 生徒指導主事と連携し、本研究を日常の指導に役立てる。

平成18・19年度研究員

早坂 純子 (第三中学校)
福田 郁男 (山辺中学校)
保々 博司 (西 中学校)
高沢 八起 (西 中学校)
峰岸 恵 (協和中学校)
島田 光正 (愛宕台中学校)
溝口 明 (坂西中学校)

指導助言・講師

伊藤 潔 (上智大学 理工学部教授)

担当指導主事

岡部陽一 (教育研究所)